木更津市障害福祉計画策定委員会　第１回会議録

日　時：令和２年１０月２９日（木）　１０：００～１１：５０

場　所：木更津市民総合福祉会館　１階市民ホール

出席者：大出氏（君津健康福祉センター）、滝口氏（木更津市社会福祉協議会）、島津氏（中核地域生活支援センター）、小沢氏（かずさ萬橙会）、中村氏（みづき会）、野中氏（木更津市身体障害者福祉会）、古山氏（木更津市視覚障害者福祉協会）、寺本氏（木更津ろうあ協会）、石川氏（木更津市手をつなぐ親の会）、國分氏（つくし会）、鈴木氏（福祉部長）

欠席者：津田氏（のゆり会）

事務局：障がい福祉課　多賀課長、間宮係長、矢原副主幹、磯村主任主事

策定委員会委員長に「木更津市手をつなぐ親の会」石川委員、副委員長に「君津福祉ネット」島津委員を事務局案として提案した後、全委員から賛同を得た後、間宮より第１部について説明をした。

【概要】

國分委員　アンケート調査結果のうち「問９　身体手帳を持っているか」の問いに対して、１０００人の対象に送っているからだとは思うが、この調査結果を一般市民が初めて見たときに、身体手帳を持っていない人がこんなに多くいるのかという印象を持つと思います。

島津委員　身体手帳は持っていないが精神、療育手帳を持っている人も含まれているとは思うが、この調査結果を見た人がどういう印象を持つかを考えると、アンケート方法にも問題があるのでは。例えば、身体障がい者、精神障がい者、知的障がい者それぞれにアンケートを分けて送る方法もあったはずである。アンケートの取り方についても次回からは検討するべきである。

事務局（間宮係長）　理解しづらいとのご指摘をいただきましたので、今回のプランへの掲載をするかどうかについて、検討させていただきます。

國分委員　Ｐ４４の「問３４　障害支援区分認定を受けているか」については、６４．２％の人が区分認定を受けていないが、アンケートの取り方として６４．２％の人はなぜ認定を受けていないかが見えてきません。

島津委員　「区分認定を受けていない」だけではアンケートの意味がないと思います。受けていない理由がわかればそこから課題等も見えてくるのではないでしょうか。

事務局（間宮係長）　障害支援区分がなくても障害福祉サービスを利用することができます。ただ、障害支援区分の有無だけでは見えてくる課題が不透明であるため、今回のプランへの掲載をするかどうかについて、検討させていただきます。

寺本委員　今の説明を聞くとアンケートが効果的に行われているのかが疑問である。数字の中身について精査しないと意味がないと思います。

事務局（間宮係長）　アンケート内容について再検討させていただきます。

続いて、第４次障がい者プランの取り組み状況について間宮より説明をした。

島津委員　第１部第３章「第４次きさらづ障害者プランの取組状況」）以降については、障害福祉計画に関するものであるから、Ｈ３０～Ｒ２年度までの実績は第１部にあげるのではなく、障害福祉計画の部分（第３部）に上げるのが筋ではないでしょうか。

また、第２部は障害者計画に対する取り組み状況を取り上げるべきであって、障害福祉計画の結果を取り上げるところではないと思う。

　　　　　第１部第４章の課題を受けて第２部につながると思うが、課題と基本施策がどのようにつながっているかが見えてこない。課題に対する政策をどこに反映させているのか。

　　　　　障害者総合支援法は障害福祉サービスに関する規定なので、コロナ対策については障害者計画の中に記載するべきである。全体の構成がわかりにくいので、市民にわかりやすいようにするべきである。

事務局（間宮係長）　障がい者施策の取組状況や障害福祉サービスの実施状況を基に計画の方向性と目標を決めるため、コンサルタントとも相談し、構成について再検討させていただきます。

石川委員　移動・交通手段の整備改善（Ｐ９５）のうち、「路線バスの低床化」については安心・安全部会で検討しており、ここ１０年でもかなり低床化が進んできていると感じていますが、バスを利用する皆様はいかがでしょうか。

古山委員　低床化は進んでいると感じていますが、全部のバスが低床化されているとは思いません。私たち視覚障害者は低床化だけでなく、行き先を音声で伝える外部スピーカーが一番重要となってきます。

石川委員　それでは、今後も実現していただければと思います。

石川委員　コロナ禍を受けて何か意見はありますか。

野中委員　人との交流が少なくなると心が疲弊していくので、自治体にも知恵を出してもらって、障害者が生き生きと生活できるようにしてもらいたいです。

石川委員　古山委員からは何かありますか。

古山委員　視覚障害者はヘルパーに密着してもらって支援してもらうことになるので、それが密になるとのことで公共施設を思うように利用できないのが現状である。

石川委員　寺本委員は何か困っていることはありますか。

寺本委員　聴覚障害に関するイベントが全てなくなってしまったので、地域の仲間との交流ができない状況である。

島津委員　コロナ情勢を受けて、市として今後どのように対応していくかを伺いたい。

事務局（間宮係長）　感染症に対応した新しい生活様式を築いていく必要がありますので、その旨の記載をすることを検討しております。

次回の第２回策定委員会は１１月１１日（水）午前１０時から行うことを確認し、閉会となった。